

NPO 法人 猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道 会報

ツキネコ通信

2025
Vol. 12

発行日 2025年9月



TOPICS

- ・広がっています！永年預かり制度
- ・「高齢者と伴侶動物の福祉を考える」シンポジウムに参加

不幸な猫を1匹でも
減らしたい、増やさない。

私たちツキネコ北海道は、【猫と人を繋ぐ】ことを目的として、行き場のなくなった猫を保護して、新しい家族を見つける活動をしています。

2012年に札幌市で発足。

現在200名を超えるボランティアさんの協力を得ながら保護猫シェルター「ツキネコカフェ」を拠点として昨今頻発している多頭飼育崩壊からの救出をはじめ、飼育放棄や野良猫餌やりなどの問題に取り組んでいます。

いつも、ご支援ありがとうございます！

2024年

保護頭数 714 匹

譲渡頭数 (永年預かり含む) 617 匹

広がっています！ 永年預かり®制度

ツキネコ北海道が始めたこの制度。
現在は、全国に広がっています。
さまざまな連携が実を結び、
再び猫との暮らしを手に入れた
方々の声を取材しました。



永年預かり
in Tokyo

猫と誠実に向きあうのに、
年齢は関係ありません。

♥ひささんとラナちゃん&マックスくん

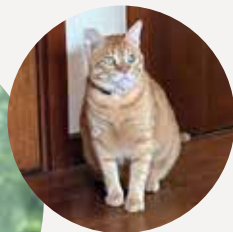
地元の保護猫団体に問い合わせても「年齢的に難しい」「他の方に決まりました」と断られ続け、心が折れそうになっていました。そんな時、偶然見たテレビ番組でツキネコの「永年預かり®制度」を知り、「これしかない」と思い即連絡。札幌の団体であることに少し不安はありましたが、「猫と暮らせるなら、札幌に移住してもいい」という覚悟で相談したところ、「ぜひ飼ってください」と言われたときは、本当に嬉しかったです。最初は1匹の予定でしたが、仲良しの兄妹猫を紹介され「2匹も変わりませんよ」と言われて2025年2月に2匹をお迎えしました。ラナちゃん(♀)は人懐っこく、マックスくん(♂)は慎重派。2匹で元気に遊び、帰宅時には揃って出迎えてくれます。確かに、「終生飼養」は大前提です。けれども、寿命は誰にもわかりません。若くても不慮の事故や病気で先に命を落とすこともあります。そう考えれば、大切なのは年齢よりも“どれだけ誠実に猫と向き合えるか”だと思います。

永年預かり
in Kanagawa

愛猫の旅立ち後、
諦めていた猫との暮らし。

♥ひでこさんとカフちゃん&チャイクん

長年寄り添ってきた愛猫が、2023年に24歳で旅立ちました。深い悲しみとともに、「もうペットは諦めよう」と思いました。年齢のことを考えると、新しく猫を迎える勇気が持てませんでした。そんなある日、娘がインターネットで見つけてくれたのが、ツキネコの「永年預かり®制度」でした。最初は、「神奈川の私に対応してくれるの?」と半信半疑でしたが、問い合わせをしたところ、「大丈夫ですよ!」と言っていたときの喜びは、今でも忘れられません。「また猫と暮らせる」その気持ちで胸がいっぱいになりました。そして2024年、カフちゃん(♀)を迎えました。しばらくは一匹での生活でしたが、ある日ふと「寂しそうだな」と感じて2025年にチャイクん(♂)を迎えました。最初こそ距離をとっていたカフちゃんですが、少しずつチャイクんに心を開き今ではお互いを舐め合ったり、一緒に眠ったりするようになりました。動物と暮らす喜びは年齢に関係なく、心を元気にしてくれるものだ改めて実感しています。





道外永年預かりをサポート！ ボランティア高橋洋子さん

タイに住んでいた頃からツキネコのブログを愛読しており、「いつかボランティアで関わりたい」と思いながらも、なかなか一歩を踏み出せずにいました。そんなある日、現地でツキネコの活動を紹介する日本のテレビ番組を見て、お店やスタッフのあたたかい雰囲気に背中を押され、一時帰国の際にボランティアとして参加するようになりました。札幌に帰省するたびにツキネコを訪れ、そのたびに「第二の家」のような安心感を覚えるようになりました。その後、ツキネコから2

匹の猫を譲渡していただき、タイの自宅と共に暮らすことに。現在は東京在住で、「道外の永年預かり[®]制度」を支えるボランティアとして活動しています。空港での猫の引き取りや、預かりボランティアさんのお宅へのお届け、ご相談への対応など、離れていてもできる形でツキネコと関わり続けています。また、猫の保護活動に役立つ保護ネット「にゃっちnet」の開発を行い、現場を支えるツールの提供にも力を入れています。

ツキネコ北海道独自のシステム

「永年預かり[®]制度」

飼うのではなく、「預かる」というカタチで、猫と暮らす幸せをいつまでも繋げる取り組みです。



吉井代表 「高齢者と伴侶動物の 福祉を考える」 シンポジウムに参加



超高齢者社会における課題解決にむけて、私たちの活動が注目されています。

2024年12月14日に横浜市の「かながわ労働プラザ」で開催された公開シンポジウム「共に生きる幸せ：高齢者と伴侶動物の福祉を考える」に、代表の吉井がパネリストとして参加しました。このシンポジウムは、横浜国立大学の安野舞子准教授が研究代表を務める科学研究費助成事業の一環として開催され、高齢者が犬や猫と安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、現状や課題について議論が交わされました。当日は多くの参加者が集まり、質疑応答の時間が足りないほどの関心が寄せ

られ、後日、メールでの質問も多数寄せられました。また関東圏で永年預かり[®]制度を利用された2名の飼い主さんも足を運んでくださり、直接お会いできてお話を聞くことができました。このような活動を通じて「永年預かり[®]制度」への関心が高まり、オンラインミーティング等を通じて全国の皆様と繋がりながら、制度の普及に努めております。私たちは、この制度を全国に広げることで、保護猫には温かな家庭を、高齢の方々には心の支えとなる存在を届けていきたいと考えています。



私の研究「高齢者と伴侶動物の福祉を連携させるサポート・システムの構築」では、当初、すでに犬や猫を飼っている高齢者が、最後まで安心して暮らせる支援の在り方を模索していました。しかし、年齢を理由に飼育を諦める高齢者の存在を知り、そうした方々にも安心して犬や猫と暮らせる支援が必要だと考えるようになりました。そのような中、ツキネコ北海道さんの活動を知り、その素晴らしさに感銘を受け、インタビューさせていただきました。この取り組みが全国に広がることを切に願っています。
横浜国立大学 教育推進機構 安野 舞子准教授

全道各地で発生しています。

多頭飼育崩壊

道内各地で頻発している多頭飼育崩壊案件。

ツキネコ北海道は様々な事情に寄り添い、

『猫と人を繋ぐ』レスキューに取り組んでいます。

2024

6.11

小樽多頭飼育崩壊

着手

2023年より地域ボランティアが避妊・去勢を進める一方、外猫への給餌も行われていたことから、近隣住民からの苦情が寄せられていました。当初、飼い主は猫を手放すことに強い抵抗を示していましたが、同居家族の反対や生活環境の悪化も影響し、最終的に「少しずつ頭数を減らす」という方針で合意に至りました。2024年6月当団体が現地を訪問し、衛生状態の改善を目的とした清掃と初回のレスキューを実施。その後、人馴れした猫から優先的に保護し、当団体での譲渡活動を進めています。これまでに17頭を引き取りましたが、現在も20匹以上が現場に残っており、継続的な支援と見守りを行っております。



2024

6.25

根室管内多頭飼育崩壊

着手

北海道東端・根室管内で飼い主の経済的困窮により多頭飼育崩壊が発覚。町役場からの相談を受け、根室振興局が対応するも北海道庁の支援は得られず、当団体に支援要請がありました。2024年6月に現地を視察、猫たちは建物の屋根裏にまで自由に出入りし、飼い主の努力にも限界が見られました。9月にはスタッフとボランティアで清掃と初回レスキューを実施し、子猫14匹と母猫1匹、後日成猫17匹を保護しました。札幌から車で10時間以上の距離のため頻繁に行くことができず困難な支援活動ですが、フードなどの継続的な支援を行いながら少しずつ引き出していく予定です。



Help cats!

2025

5.2

ブリーダー引退による飼育放棄

北海道滝川市より成猫7匹・子猫2匹の計9匹を保護しました。飼い主は高齢の元ブリーダーで、体調不良や高齢による体力の低下から飼育が困難となり、猫たちは「飼い主探しノート」に半年以上掲載されていましたが譲渡に至らず、当団体が引き取りを決断しました。古い住宅の一室で生活していた猫たちの中には、出産直後の母猫や妊娠後期の猫もあり、保護後すぐにミルクボランティア宅へ。妊娠中だった母猫も後日無事に出産。健康状態に不安がある子も多く、長毛種の子は毛玉や皮膚炎が見られ、下痢などの症状もありました。

※飼い主探しノートとは※ 事情があって飼育困難となった犬や猫を譲りたい方と、新たに飼い主になりたい方との情報交換を北海道（振興局）が支援する仕組みです。



いつも応援ありがとうございます！



たくさんの人に支えられ、 月虹山荘は3周年。

ツキネコ北海道の活動を応援してくださる、継続寄付【READYFOR ツキネコサポーター】がスタートして3年が経ちました。現在、255名の皆さまにご支援いただき、毎月約45万円の寄付をいただいています（2025年6月現在）。この安定したご支援は、月虹山荘で暮らす猫たちの医療費や生活費、施設の維持管理など、日々の運営に欠かせない大きな力となっております。「ツキネコの力になりたい!」というサポーターの温かい想いに、心から感謝申し上げます。



**マンスリー
サポーター** 募集中



READYFOR
(クラウドファンディングサイト)

月虹山荘は、毎週土・日曜に見学可能です（要予約）。
ご希望の方は【ツキネコカフェ 011-641-8505】までご連絡ください。

収支報告

収入の部		支出の部		(単位:円)	
受取会費	265,500	事業費	100,693,101	当期経常増減額	3,577,265
寄付金収入	39,001,593	(うち、猫診療治療費)	21,805,936	経常外収入	0
受取助成金	1,454,246	(うち、人件費)	26,615,190	経常外支出	312,727
グッズ・食品販売等収入	12,676,298	管理費	1,031,639	税引前当期正味財産増減額	3,264,538
公益譲渡等収入	41,181,198	(うち、人件費)	303,157	法人税、住民税及び事業税	70,000
カレンダー収入(協賛含む)	4,387,203	経常費用計	101,724,740	当期正味財産増減額	3,194,538
受取利息	8,370			前期繰越正味財産額	57,910,801
その他収益	6,327,597			次期繰越正味財産額	61,105,339
経常収益計	105,302,005				

山田あかね監督来札！ハナコプロジェクト

tsukineko news

映画監督の山田あかね氏、俳優の石田ゆり子氏らが立ち上げた『一般社団法人ハナコプロジェクト』さんが、ツキネコを視察に来訪されました。

7月某日、代表の山田氏を月虹山荘とツキネコカフェにご案内し、北海道の保護猫の現状や、沖縄県・福岡県からの保護猫の受け入れに関する課題についてもお伝えしました。山田氏は映画監督として、ウクライナの戦禍の中に赴き、戦場で生きる犬たちに何が起きているのか、その「もうひとつの闘い」の記録を伝えてくれています。短い時間ではありましたが、お話しできたことは非常に有意義な時間となりました。

なお、ハナコプロジェクトでは、当団体の主治医である「えぞりすどうぶつクリニック」の佐藤獣医師が協力病院として登録されており、保護猫の診療や多頭飼育崩壊の際には医療費支援を受けることができます。保護団体だけではなく個人での申請もできるので、TNR や保護したい猫がいる場合はご相談ください。



国家資格「愛玩動物看護師」 取得のご報告

tsukineko news

今年、スタッフの鹿内・松本・日置の3名が「愛玩動物看護師」の国家資格を取得いたしました。これにより、2024年に資格を取得した吉川を含め、当団体には計4名の愛玩動物看護師が在籍することとなりました。この資格の取得により、保護猫たちの日々の健康管理はもちろん、里親さんやご相談者の方々へのより専門的なアドバイスの提供、さらには往診獣医師のサポートなど、医療面での対応力が大きく向上しました。今後もスタッフの知識と技術の向上に力を入れ、猫たちが安心して暮らせる環境づくりを、これからも一歩ずつ進めていきます。



ケーキがおいしい、本格フランス菓子店 パティスリーシエム

ここにも、
ツキネコ募金箱！



10種類もある
ベイクチーズケーキや、
ショコラの種類も豊富です。



材料にこだわった、季節ごとに楽しめる
ケーキと洋菓子のお店です。趣向をこらした
記念日用のホールケーキも承っています。

住所：札幌市豊平区平岸5条7-8-27
電話：011-841-7339

札幌東区にある、人気公衆浴場 こうしんの湯

ここにも、
ツキネコ募金箱！



全8種の天然生薬を配合。
スッキリほぐれた湯上り
ご堪能ください。



趣向の違った2つの露天風呂のほか、多種
多様な入浴体験ができる「こうしんの湯」。
入浴後の休憩施設やお食事も充実です！

住所：札幌市東区北30条東19丁目1-1
電話：011-780-2615 (フロイコ)

今年もたくさんの ボランティアさんによって 活動が支えられました。

ツキネコは「猫が好きだからできること」「得意なことや趣味を活かしたい」という思いが形になる場所です。いつも多くのボランティアさんに支えられ、保護猫たちの命をつなぐ活動を続けることができています。保護施設のお掃除や猫の一時預かり、イベントボランティアなど「自分にも何かできるかも」と思ったら、ぜひお気軽にご連絡ください。あなたの一歩が、猫たちの明るい未来につながります。

お話しませんか？
ボランティアさん
随時募集中！



♡ ちほさん

5年程前に里親になり、保護猫の為にできる事があるなら、とお掃除ボランティアを始めました。沢山の個性溢れる猫たちとふれあえる事がイチバンの魅力です。みんな可愛いですよ。自分のペースで大丈夫なので是非、気軽にご参加ください。



♡ としみつさん

数年前、愛猫マチコが我が家に来ることになった際、ちょっとした修理をきっかけにボランティアを始めました。長く続けるコツは、無理をせず自分にできる範囲で関わることだと思います。スタッフや他のボランティアの方も気さくな方ばかりで、私はとても付き合いやす感じています。



♡ ひろゆきさん・あゆみさん

保護猫を迎えたことがきっかけでツキネコを知り、猫のことをもっと知りたくなりました。預かる猫の多さに驚きましたが、それだけ助けが必要な猫が多いと実感しました。ボランティアにはさまざまな形があり、自分に合った関わり方が見つけられます。猫を通じた人とのつながりも魅力のひとつです。



ツキネコ最後の看板猫 脳性麻痺、全盲の天使猫 ネネ 虹の橋へ

(享年18)

動物達は生きることを諦めません。

次々とツキネコの看板猫が虹の橋を渡っていく中、重度の障がいを持っていたネネは、遅く食べて、飲んで、排泄して寝ることがいつもの生活でした。

時には「可哀想に...」と涙ぐむ方もいましたが、ネネはいつもの様に機嫌が悪いと怒り、お腹が減ったと鳴き、側で一緒にいると機嫌がいいのでした。

《ただひたすらに生きること》それを教えてくれた様に思います。

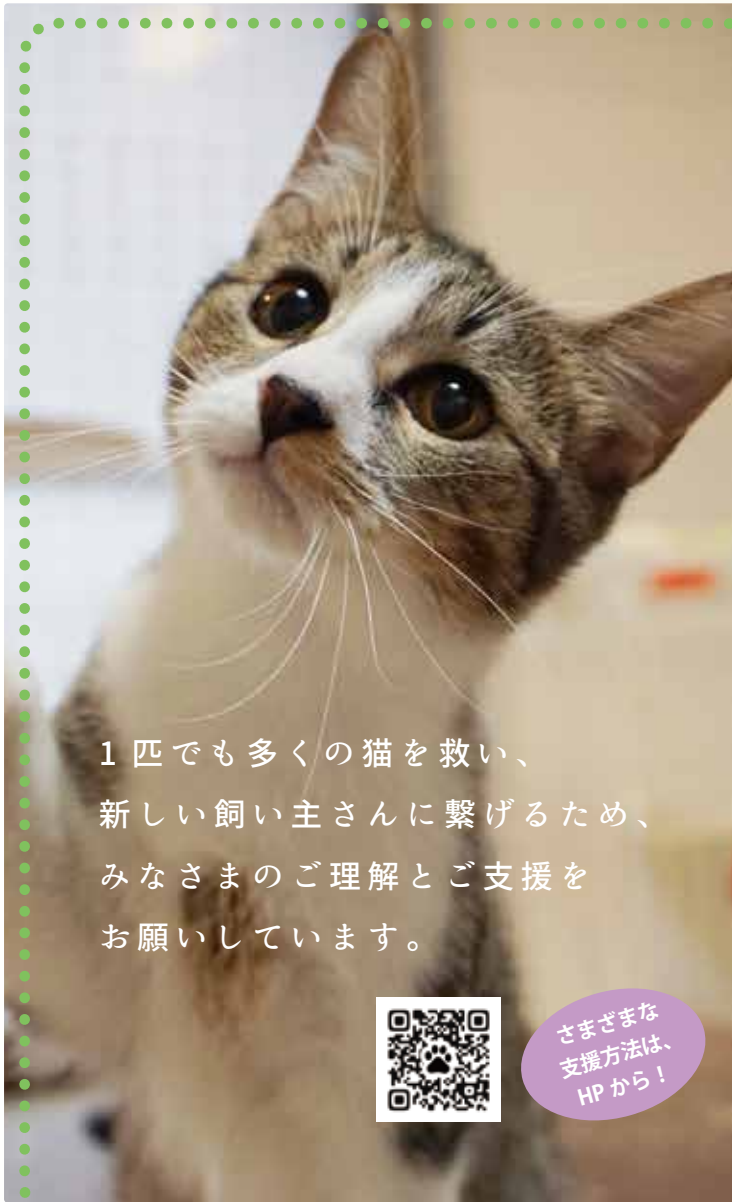
ツキネコでネネを受け入れたことは、単なる偶然ではないと思っています。

最期は自宅でしっかり介護して、看取ることができました。

悲しくはありません。

虹の橋には5匹のツキネコOBや、チームツキネコの保護猫達がたくさん待っています。

ネネ、ありがとう。またいつか会おうね。(代表 吉井)



1匹でも多くの猫を救い、
新しい飼い主さんに繋げるため、
みなさまのご理解とご支援を
お願いしています。



さまざまな
支援方法は、
HPから！

お振込での寄付

口座名/特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行→ゆうちょ銀行 記号/19090 番号/30896851
	ゆうちょ銀行以外の金融機関→ゆうちょ銀行 店名/九〇八(キュウゼロハチ) 口座番号/(普)3089685
北洋銀行	宮の森支店 口座番号/(普)4045536

支援金は、店頭及び振込にて受け付けています。
また、様々な企業さまに募金箱設置のご協力をいただいていますのでお気づきの際は、よろしくお願ひいたします。

物資支援

キャットフード、トイレ砂、猫用品などの物資によるご支援をお願いしております。直接店頭にお持ちいただくか、ツキネコカフェ宛に郵送していただきますようお願い申し上げます。

継続寄付 毎月1,000円からの定額支援も可能です。

継続的なご支援をいただくことで安定的な保護活動の持続につながります。

READYFOR

(クラウドファンディングサイト)



マンスリー
サポーター



税金控除になる寄付

公益社団法人アニマル・ドネーション



動物福祉活動を頑張っている団体と、寄付を通じて団体を応援したい人をつなぐ場所を作っています。



施設情報



住所 札幌市中央区北6条西25丁目1-6
電話番号 011-641-8505 駐車場 5台有
営業時間 12:00 ~ 18:00
定休日 火曜・水曜、年末年始、臨時休業有

※猫部屋は最大1時間のご利用。延長は承っておりません。



住所 札幌市手稲区西宮の沢6条1丁目6-18
営業時間 12:00 ~ 16:00 (土日のみ)

※ご予約はツキネコカフェまでお願いいたします。

店舗のご利用
について

2025年より「寄付制」で運営しています。

施設の運営費や猫たちの医療費のために、ご見学の際には目安としてお一人様1,000円程度のご寄付をお願いできればと思っています。

※完全予約制: 事前にお電話にてご予約ください。

※店舗情報は状況により変更いたします。HPにてご確認ください。

HPやブログ、各種SNSもご覧ください



● ツキネコ北海道ホームページ <https://tsukineko.net/>

● ブログ <https://s.ameblo.jp/tsukineko-hokkaido/>

ネットショップ

オリジナルやセレクトグッズが盛り沢山!



BASE ツキネコ北海道

<https://tsukineko.thebase.in/>

